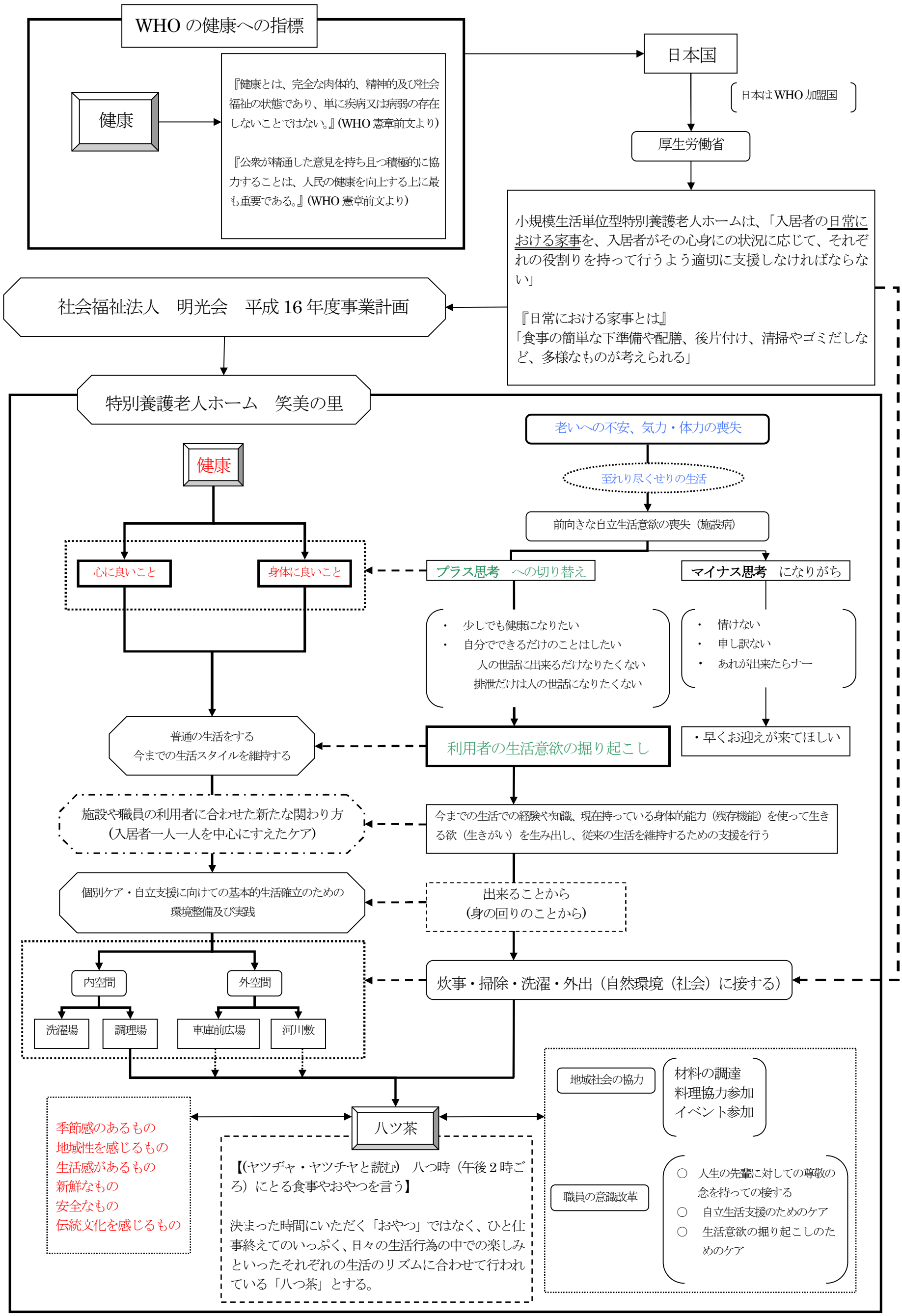
WHO の健康への指標
健康
『健康とは、完全な肉体的、精神的及び社会福祉の状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない。』(WHO 憲章前文より)
『公衆が精通した意見を持ち且つ積極的に協力することは、人民の健康を向上する上に最も重要である。』(WHO 憲章前文より)
日本国
日本はWHO 加盟国
厚生労働省
小規模生活単位型特別養護老人ホームは、「入居者の日常における家事を、入居者がその心身にの状況に応じて、それぞれの役割りを持って行うよう適切に支援しなければならない」
『日常における家事とは』
「食事の簡単な下準備や配膳、後片付け、清掃やゴミだしなど、多様なものが考えられる」
社会福祉法人　明光会　平成 16 年度事業計画
特別養護老人ホーム　笑美の里
老いへの不安、気力・体力の喪失
至れり尽くせりの生活
前向きな自立生活意欲の喪失（施設病）
健康
心に良いこと
身体に良いこと
プラス思考　への切り替え
マイナス思考　になりがち
・ 少しでも健康になりたい
・ 自分でできるだけのことはしたい
人の世話に出来るだけなりたくない
排泄だけは人の世話になりたくない
・ 情けない
・ 申し訳ない
・ あれが出来たらナー
・早くお迎えが来てほしい
普通の生活をする
今までの生活スタイルを維持する
利用者の生活意欲の掘り起こし
施設や職員の利用者に合わせた新たな関わり方
(入居者一人一人を中心にすえたケア)
今までの生活での経験や知識、現在持っている身体的能力（残存機能）を使って生きる欲（生きがい）を生み出し、従来の生活を維持するための支援を行う
個別ケア・自立支援に向けての基本的生活確立のための
環境整備及び実践
出来ることから
(身の回りのことから)
内空間
外空間
洗濯場
調理場
車庫前広場
河川敷
炊事・掃除・洗濯・外出（自然環境（社会）に接する）
季節感のあるもの
地域性を感じるもの
生活感があるもの
新鮮なもの
安全なもの
伝統文化を感じるもの
八ツ茶
【(ヤツヂャ・ヤツチヤと読む)　八つ時（午後 2 時ごろ）にとる食事やおやつを言う】
決まった時間にいただく「おやつ」ではなく、ひと仕事終えてのいっぷく、日々の生活行為の中での楽しみといったそれぞれの生活のリズムに合わせて行われている「八つ茶」とする。
地域社会の協力
材料の調達
料理協力参加
イベント参加
職員の意識改革
○ 人生の先輩に対しての尊敬の念を持っての接する
○ 自立生活支援のためのケア
○ 生活意欲の掘り起こしのためのケア

2006/12/06